

バッファローの協力でWi-Fi環境を再構築 トラブルが解消され、快適な通信環境を実現 宿泊客の満足度が向上し、現場の負荷も解消

新宿ニューシティホテル 様

池田創業株式会社が新宿副都心で運営するビジネスホテル「新宿ニューシティホテル」。同ホテルでは、宿泊客のスマートフォンやタブレットの利用増を見据え、2012年にWi-Fiによるインターネット接続環境を構築しましたが、接続不良などのトラブルに悩まされていました。そこでバッファローの「Wi-Fi事前調査サービス」を活用、その結果に基づきWi-Fi環境を再構築したことで、トラブルを解消し快適な通信環境を実現しました。



写真：新宿ニューシティホテル 総務・経理部 総務課 支配人の神足大 氏（以下神足氏）

Wi-Fi環境を改善するため、 ネットワークの再構築を実施

新宿ニューシティホテルでは、2012年に宿泊客の満足度と利便性向上を目的に、Wi-Fiによるインターネット接続環境を整備しました。しかし、構築されたWi-Fi環境はその能力を十分に発揮できず、つながりにくいなど、宿泊客からクレームがあがっていたといいます。そうした課題を解決するために同ホテルが実施したのは、バッファロー、およびバッファロー・IT・ソリューションズの協力のもとに行われたWi-Fi環境の再構築でした。

2012年に整備したWi-Fi環境は、「Wi-Fiの電波が十分に行き渡らない場所があり、宿泊客から『Wi-Fiが繋がりにくい』というクレームがフロントに寄せられていたのです」（神足氏）

「クレームが寄せられれば、当然、フロント側はその対応にあたらなければなりません。有線LANポートに接続して使用する小型のWi-Fiルーターを貸し出したりなど、現場の運用でその場を凌いだできたのです」と神足氏は話します。

バッファローの 「Wi-Fi事前調査サービス」を活用

そうした中で、新宿ニューシティホテルはWi-Fi環境の簡易調査の無料キャンペーン知りバッファローに連絡。導入していたWi-Fi機器がバッファロー製品だったこともあり、神足氏は「メーカーなら対応してくれるのではないか」という思いもありました」と神足氏は話します。

2014年9月、まずはバッファローによる無料の

簡易調査を実施。電波到達エリアを電波測定ツールで、接続状況が可視化。その調査結果を踏まえ、Wi-Fi環境の再構築が必要と判断した新宿ニューシティホテルは、続いて有償による詳細な現地調査、およびその結果に基づく改善提案をバッファロー・IT・ソリューションズに依頼します。

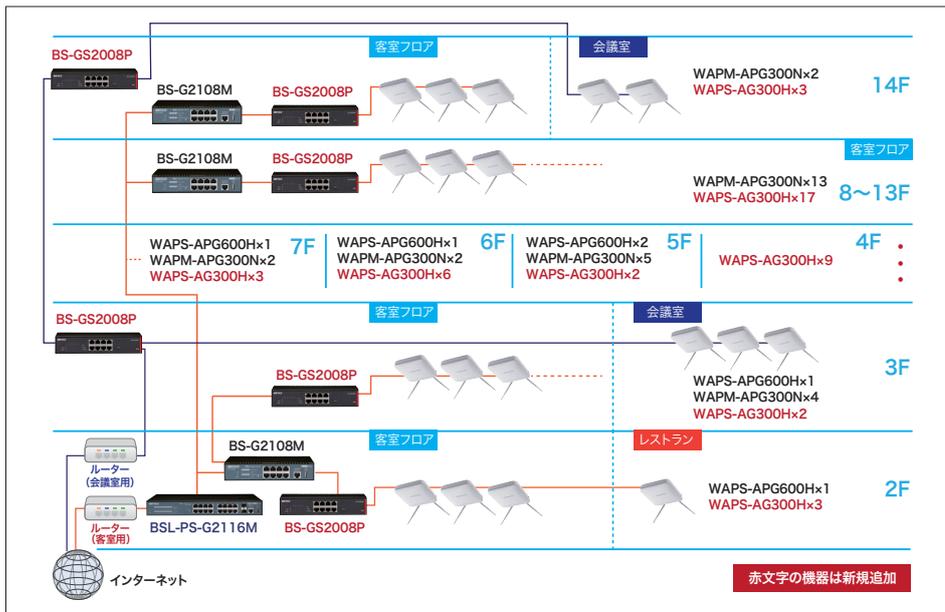
6つの会議室と400室の 客室をカバーするWi-Fi環境を実現

2014年11月に実施した詳細調査結果に基づき、バッファロー・IT・ソリューションズによるWi-Fi環境の再構築が行われました。最終的には、既に導入済みであったアクセスポイントの移設とともに、新たに45台の「WAPS-AG300H」が導入されました。周辺の電波環境に応じて柔軟なWi-Fiアクセスを実現します。最終的には、6つの会議室にはそれぞれ1台ずつ、各客室フロアには4～9台のWi-Fiアクセスポイントが設置され、最大55室を9台のアクセスポイントでカバーするWi-Fi環境が実現されました。さらにWi-Fiアクセスポイントを接続するスイッチも、PoE給電対応スイッチの採用で、電源周りの工事費用も抑制されています。

安定したWi-Fi接続で クレームはゼロに、顧客満足度も向上

2014年12月、400室をもカバーするWi-Fiネットワークの再構築は7営業日という短いスケジュールで完了。既存のWi-Fi環境を並行運用しつつ、工事が終了したフロアから、順次、新ネットワークへと切り替えていきました。

神足氏は、「Wi-Fi環境の再整備後は快適な通信が確保できており、これまで寄せられていたクレームや問い合わせはなくなりました」と評価します。また、安定したWi-Fi環境を完備できたことで、海外顧客向けの旅行代理店に対するPRの強化にもつながっており、今後の宿泊者増に期待が寄せられています。



導入製品

エアステーションプロ 11n/a & 11n/g/b切替使用
スマートモデル Wi-Fiアクセスポイント
WAPS-AG300H

